

～希望～ 鏡中学校 S P E S 人権宣言

ウイルスとの闘い・・・目に見えない相手に私たちは「希望」をもって挑んできました。

自分の事だけではいけないこと、思いやりや優しさといった人としてのぬくもり、小さなことでもいいから行動を起こすことの大切さ・・・活動の過程において、あらためて気づいたことや分かったことなど、たくさんのことを学んできました。挑戦は活動の幅を広げ、今も続いています。

そして今、新型コロナの終息が見えない中、世界では「戦争」が起こっています。今起こっている「戦争」はゲームの世界でも、空想やバーチャルの世界でもありません。実際に起こっている現実なのです。信じられないことが実際に起こっています。「戦争」に巻き込まれ、悲しみ苦しんでいる子ども達や人々がたくさんいる・・・恐怖におびえ悲しみのどん底にいる子どもたちが、この瞬間にも実存しているのです。

この現実を目にしたとき、私たちには何ができるのだろう、何かしなければと考えました。継続するコロナウイルスとの闘いと同じように「戦争」にも目をそらしてはいけない・・・そう考え次の5項目を考えました。

1. 私たちは、意見の違いや、生まれながらに持っているものに対して差別をしません。偏見を持ちません。
2. 私たちは、互いの違いを認め、自由と権利と責任を尊びます。
3. 私たちは、困っている人がいたら声をかけ、互いに助け合います。
4. 私たちは、人権を奪うような言葉や力による暴力をしません。
5. 私たちは、いかなる戦争にも賛同せず、恒久の平和を愛します。

また、日常の学校生活の中でも、知らず知らずのうちに偏見や差別があり、時にはいじめにつながるようなこともあるかもしれません。これらは知識や意識が不足しているのだと思います。

現代にあるコロナ感染者や医療従事者、関係の方々への偏見や差別、そして絶対にあってはならない「戦争」に苦しむたくさんの人たち・・・。

これらの大きな課題を考えると、私たちは「人権」について深く学び、すべての人に対し偏見や差別を決して持たないことが大切だと思います。

私たちは、平和を愛し、だれもが人として安心して暮らしていける社会の実現に向けて「学び」を続けることを誓います。英知を身に付け、「希望」を忘れず、未来へ進んでいくことを上記5項目にまとめ、ここに宣言します。

令和4年3月24日 唐津市立鏡中学校 自分達の手で未来を創ろうプロジェクト (S P E S)

～補足～ この宣言文は、小さな行動かもしれませんが、声を上げること、行動を起こすことが大切だと思って作成しました。少しでも「戦争」を止める力になればと願います。